

準備・整理運動中に



# 障害の残る事例も発生しています!



## 災害発生状況（学年 / 性別 / 障害種）

ソフトボール部の部活動中、ウォーミングアップで走っているときに、サッカー部の生徒が蹴ったボールが顔に強く当たり、右眼を負傷する。  
(中2 / 女子 / 視力・眼球運動障害)

2人1組にて、一人がしゃがみ、もう一人が左右に跳ぶ準備運動を行っていた。本生徒は跳んでいた時足をひっかけころび左腕を骨折した。  
(中3 / 男子 / 上肢切断・機能障害)

体育祭で演技する空手演舞の練習をする。準備運動で手押し車の指示があり、本生徒は級友に両足を持ってもらい、両手だけで前に進んでいった。しかし、タイミングが合わず（級友が押すのが速かった）、左手が崩れ、顔面から床に落ち、左眼の下部分を打ち負傷した。  
(高1 / 男子 / 視力・眼球運動障害)

保健体育の時間中、準備体操として馬とびをしていたとき、着地のバランスを崩し前のめりに転倒し、床に歯を打ちつけた。  
(高3 / 女子 / 歯牙障害)

(事例は学校事故事例検索データベースより)



**過去の事例を参考にして原因を分析し、対策を講じて、同様な事態を繰り返して発生させることのないようにすることが大切です。  
また、それらの危険をあらかじめ予測し、回避することにより、事故の防止に努める必要があります。**

出典：『課外指導における事故防止対策 調査研究報告書』

# 主運動前後の事故防止にも努めましょう！

けが予防が目的のはずのウォーミングアップ・クールダウン中に、毎年、  
中学校では1万3千件以上、高等学校では7千件以上もの事故が発生しているのをご存知ですか？

## 安全指導のポイント！

- ☆ 安全に活動するための約束事やルールづくり
- ☆ 基礎的な体力の向上と正しい技術の習得
- ☆ 施設・設備・用具等の安全確保
- ☆ 互いに声を掛け合うなどの  
豊かなコミュニケーションの充実



指導者は、運動時はもちろん、その前後の安全管理にも注意を払う必要があります！



参考：『課外指導における事故防止対策 調査研究報告書』、『学校の管理下の災害 [平成28年版]』、  
平成28年度 スポーツ事故防止対策推進事業『学校でのスポーツ事故を防ぐために 成果報告書』